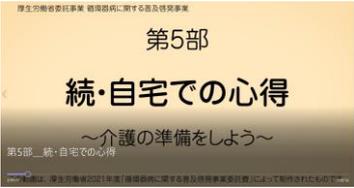
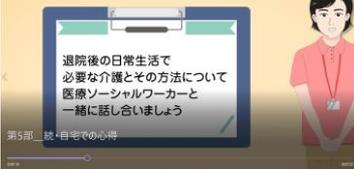
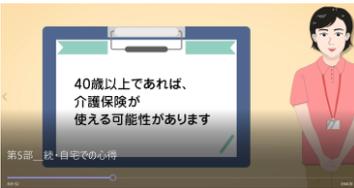
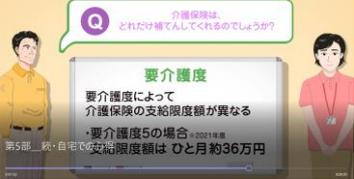


映像	内容
	<p style="text-align: center;">第5部</p> <p style="text-align: center;">続・自宅での心得 ～介護の準備をしよう～</p> <p style="text-align: center;">*左端の数字は、開始からの経過時間を示しています。</p>
   	<p>-0分33秒 ケアマネジャー</p> <p>ケアマネジャーの吉田です。 介護を必要としている方が、適切に介護が受けられるように、いろいろな支援をする、それが私たち、ケアマネジャーの役割です。 今回、私がお伝えするのは、介護についてです。介護についてお話をするのは、皆さんが病院から自宅に移られてから、介護が必要になることもあるからです。</p> <p>退院後、自宅で日常生活を始めるに当たって、どのような介護が必要なのか、退院後の介護を、誰が、どのように、どれくらい担うのかということについて、介護保険サービスの利用も含めて、ご家族も交え、病院の医療ソーシャルワーカーと話し合みましょう。 退院してからの人生は長いです。介護に関して、長続きする方法を探りましょう。</p> <p>-1分46秒</p> <p>そして40歳以上の脳卒中患者さんは、要件を満たせば介護保険を利用できます。ぜひ、役所に申請して下さい。申請をする人はご家族でもかまいません。</p>

映像	内容
	<p>介護保険の守備範囲はとても広いといえます。自宅で介護、看護、入浴介助、リハビリテーションなどを受けるサービス、施設に通って介護や機能訓練を受けるサービス、自宅の環境を整える、住宅改修費の助成や福祉用具のレンタルなどのサービス、特別養護老人ホームや老人保健施設など施設への入所にも介護保険を利用することができます。</p> <p>介護に関する相談窓口は、介護を受ける方がお住まいの地域にある地域包括支援センターです。地域包括支援センターは、主に、高齢者の暮らしを地域でサポートするための拠点として、自治体などによって設置されている機関です。</p> <p>お近くの居宅介護支援事業所、そこはケアプランセンターともいいますが、そこにも介護サービス利用を相談できるケアマネジャーが働いています。介護保険のサービス利用が始まったら、どんなことでも、私たちに相談して下さい。</p>
	<p>-3分40秒 患者 あのを、質問、よろしいでしょうか。</p> <p>ケアマネジャー はい、どうぞ。</p>
	<p>患者 介護サービスにもお金がかかりますよね。介護保険が、どれくらい補てんしてくれるのでしょうか。まさか、いくらでも出してくれるわけではないですよね。</p> <p>ケアマネジャー そうですね、そういうご質問、ごもっともです。介護保険によるお金には、支給の限度があります。それは、介護を必要とする度合い、これを要介護度といいます。この要介護度によって違って、要介護度が高いほど、支給限度額が高くなります。ちなみに、2021年度の時点では、一番上の要介護度5ならば、支給限度額は、ひと月、約36万円です。</p>

映像

内容



このうち、利用者さんが負担する割合が、所得に応じて異なり、1割から3割となります。ですから、もし、あなたが毎月、デイサービスセンターをご利用になり、その費用が月、6万円だとすると、あなたが負担されるお金は、1割だとすると、6千円、ということになります。



患者 なるほど。わかりました。介護保険を利用して、私たちが負担する割合が1割から3割、ということですが、もし支払いに足りない時は、どうするのでしょうか。

ケアマネジャー

その場合は、高額介護サービス費といった、負担軽減制度を申請することが可能な場合があります。

患者 そうということなんですね。わかりました。

ケアマネジャー

以上、介護について、お話をいたしました。脳卒中を経験されたあと、身体や暮らしにさまざまな心配事が起こる可能性があること、それぞれについての支援策や相談窓口があることをご紹介しました。お一人で悩まず、できるだけ早く、お近くの相談窓口にご相談していただければ幸いです。

